

学年:	3年生	Stage:	Stage I	コード:	L3405	単位:	1.7
モジュール名	歯科放射線学Ⅱ			科目担当責任者	泉 雅浩		
モジュール名(英字)	Oral Radiology II			コース名	LOM 生命科学口腔病態系		
一般目標(GIO)	顎顔面領域に発生する疾患の画像所見の特徴について理解し、歯科医師に必要な画像診断学に関する基本的知識を修得するとともに、悪性腫瘍に対する放射線治療に関する知識を修得する。						
ユニット:一般目標	1. 画像診断学 各種モダリティにおける正常画像解剖について理解するとともに、顎顔面領域に発生する疾患に関する画像所見の特徴について理解し、歯科医師に必要な画像診断学に関する基本的知識を修得する。 2. 放射線治療学 放射線治療に関する物理学的・生物学的理論を理解するとともに、放射線治療の種類、副作用、口腔管理に関する基礎的知識を修得する。						

教育目標

ディプロマポリシー	DP1-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシー-CP	CP2,CP3
	- / - / c	a / a / a	a / a / a		
a.学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b.学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c.学習成果を上げるために履修する科目					
教科書等 記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど					
教 1/ 新歯科放射線学 第2版/ 金田 隆, 櫻井 孝, 土持 眞 編著/ 医学情報社 参 1/ 歯科放射線学 第7版/ 岡野友宏, 小林 馨, 有地 栄一郎(編集)/ 医歯薬出版株式会社 参 2/ 歯科臨床における画像診断アトラス 第2版 / 日本歯科放射線学会【編】/ 医歯薬出版株式会社					

評価方法

出 欠 席	履修ガイドに記載された通り						
モジュール試験(%)	80	全授業範囲について多肢選択式の試験を実施					
アクティビティ(%)	20	レポート課題の評価を中心に判定する。授業態度が不良なものはモジュール試験の得点を減点することがある。					
	アクティビティ詳細 (%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
				100			
再試験の評価方法	多肢選択式の試験を実施。GPが1.0以上のものは得点率60%以上を合格とする。GPが1.0未満のものは再試験の得点率60%以上かつ追加レポート評価が合格の場合、本モジュールを合格とする。						
フィードバックについて							
アクティブラーニング							

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_001.4/10.1限	2026/04/10	1		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	画像診断総論					
授業目標	1) 所見の表現と解釈について説明できる。 2) 鑑別診断のポイントについて説明できる。 3) 代表的なレントゲンサインについて説明できる。 4) これまで学んできた各種画像検査法について概説できる。					
キーワード	エックス線透過像、エックス線不透過像、境界、辺縁、辺縁硬化縁(帯)、辺縁硬化像、骨破壊像、周囲組織との関係					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P167～218:画像診断の進め方と鑑別診断に重要な所見について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	E-2-5-4					
国試出題基準(令和5年)	必修9-カ-d,必修9-カ-e,総論VI-2-I-a,総論VI-2-I-b,総論VI-2-I-c,総論VI-2-I-d,総論VI-2-オ-a,総論VI-2-カ-a,総論VI-2-キ-a,総論VI-2-ク-a,総論VI-2-ケ-a,総論VI-2-ケ-b,総論VI-2-コ-a,総論VI-2-コ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_002.4/10.2限	2026/04/10	2		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	顎顔面・頸部疾患の画像検査法					
授業目標	1) 顎顔面・頸部疾患に対する画像検査法について列挙できる。2) 顎顔面・頸部疾患に対する画像検査法について説明できる。					
キーワード	口内法、口外法、単純エックス線検査、パノラマX線検査、CT、歯科用CBCT、MRI、US、核医学検査					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P52～171:画像検査法の種類について復習しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	E-2-5-4					
国試出題基準(令和5年)	必修9-カ-d,必修9-カ-e,総論VI-2-I-a,総論VI-2-I-b,総論VI-2-I-c,総論VI-2-I-d,総論VI-2-オ-a,総論VI-2-カ-a,総論VI-2-キ-a,総論VI-2-ク-a,総論VI-2-ケ-a,総論VI-2-ケ-b,総論VI-2-コ-a,総論VI-2-コ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_003.4/10.3限	2026/04/10	3		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	正常画像解剖(パノラマ画像)					
授業目標	1) パノラマエックス線画像の正常解剖像を説明できる。					
キーワード	梨状口、鼻中隔、上顎洞、パノラマ無名線、翼口蓋窩、顎関節、下顎孔、下顎管、オトガイ孔、その他					
担当	西村光輔					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P197:パノラマエックス線写真で観察される正常解剖像について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-7					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-I-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_004.4/10.4限	2026/04/10	4		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					

サブユニット	正常画像解剖(パノラマ画像)
授業目標	1) パノラマエックス線画像の正常解剖像を説明できる。
キーワード	梨状口、鼻中隔、上顎洞、パノラマ無名線、翼口蓋窩、顎関節、下顎孔、下顎管、オトガイ孔、その他
担当	西村光輔
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P197:パノラマエックス線写真で観察される正常解剖像について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習
コアカリ(令和4年)	D-2-5-7
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-エ-c

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_005.4/17_1限	2026/04/17	1		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	正常画像解剖(CT)					
授業目標	1) CT像の正常解剖像を説明できる。 2) 造影CT検査の特徴と検査における注意点について説明できる。					
キーワード	水平断像(横断像)、矢状断像、前頭断像(冠状断像)、ヨウ素系造影剤、アナフィラキシーショック					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P140~141、199~201:造影CT検査の目的と注意点、CT像で観察される正常解剖像について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-9					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-オ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_006.4/17_2限	2026/04/17	2		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	正常画像解剖(MRI、US)					
授業目標	1) MRI像の正常解剖像を説明できる。2) 超音波像の正常解剖像を説明できる。					
キーワード	水平断像(横断像)、矢状断像、前頭断像(冠状断像)、Bモード、カラードプラ、エラストグラフィ					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P202~208:MRIならびに超音波画像の正常像について予習しておく 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-9					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-カ-a,総論VI-2-コ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_007.4/17_3限	2026/04/17	3		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	歯の異常、歯周組織の疾患					
授業目標	1) 歯の異常に画像所見について説明できる。 2) 歯周疾患の画像所見について説明できる。 3) 歯、顎骨外傷の画像所見について説明できる。 4) 嚢胞性疾患の画像所見について説明できる。					
キーワード	無菌症、矮小歯、癒合歯、過剰歯、辺縁性歯周炎、根尖性歯周炎、その他					
担当	西村光輔					

学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P219～224: 歯の異常、歯周疾患の画像所見について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習
コアカリ(令和4年)	D-2-5-7,E-2-5-4
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-コ-a,各論III-2-ウ-a,各論III-2-ウ-b,各論III-2-ウ-c,各論III-2-ウ-d,各論III-2-ウ-e,各論III-2-ウ-f,各論III-2-オ-a,各論III-2-オ-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_008_4/17_4限	2026/04/17	4		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	歯および顎骨の損傷					
授業目標	1) 歯および顎骨の外傷の画像所見について説明できる。					
キーワード	歯の破折、骨折、脱臼、眼窩底骨折、その他					
担当	西村光輔					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P224～230: 歯および顎骨の外傷の画像所見について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-8,E-2-5-4					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-コ-a,各論III-2-ウ-a,各論III-2-ウ-b,各論III-2-ウ-c,各論III-2-ウ-d,各論III-2-ウ-e,各論III-2-ウ-f,各論III-2-オ-a,各論III-2-オ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_009_4/24_1限	2026/04/24	1		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	顎骨に発生する嚢胞					
授業目標	1) 顎骨に発生する嚢胞の画像所見について説明できる。					
キーワード	歯根嚢胞、残留嚢胞、含歯性嚢胞、歯源性角化嚢胞、多発性顎嚢胞、側方性歯周嚢胞、石灰化歯源性嚢胞、鼻口蓋管嚢胞、単純性骨嚢胞、静止性骨空洞、動脈瘤様骨嚢胞、その他					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P230～237: 顎骨に発生する嚢胞の画像所見について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-7,D-2-5-8,D-2-5-9,E-2-5-4					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-コ-a,総論VI-2-コ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_010_4/24_2限	2026/04/24	2		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	軟組織に発生する嚢胞					
授業目標	1) 軟組織に発生する嚢胞の画像所見について説明できる。					
キーワード	萌出嚢胞、類皮嚢胞、類表皮嚢胞、鼻歯槽嚢胞、鰓嚢胞、甲状舌管嚢胞、					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P262～264,274: 軟組織に発生する嚢胞の画像所見について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-9					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-コ-a,総論VI-2-コ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_011_4/24_3限	2026/04/24	3		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	顎骨に発生する良性腫瘍					
授業目標	1) 顎骨に発生する良性腫瘍の画像所見について説明できる。					
キーワード	エナメル上皮腫、石灰化上皮性歯原性腫瘍、腺腫様歯原性腫瘍、エナメル上皮線維腫、歯牙腫、歯原性線維腫、歯原性粘液腫、セメント質骨形成線維腫、骨形成線維腫、中心性巨細胞肉芽腫、骨腫、顎骨骨腫、中心性血管腫、神経線維腫					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P237～239,241,242:顎骨に発生する良性腫瘍の画像所見について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-8,D-2-5-9,E-2-5-4					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-コ-a,総論VI-2-コ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_012_4/24_4限	2026/04/24	4		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	軟組織に発生する良性腫瘍					
授業目標	1) 軟組織に発生する良性腫瘍の画像所見について説明できる。					
キーワード	血管腫、リンパ管腫、神経鞘腫、脂肪腫、傍神経節腫、その他					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P265:軟組織に発生する良性腫瘍の画像所見について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-9					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-コ-a,総論VI-2-コ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_013_5/1_1限	2026/05/01	1		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	腫瘍類似疾患					
授業目標	1) 腫瘍類似疾患の画像所見について説明できる。					
キーワード	線維性異形成症、セメント質骨性異形成症、ケルビズム、その他					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P240～242:顎骨に発生する腫瘍類似疾患の画像所見について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-7,D-2-5-8,D-2-5-9,E-2-5-4					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-コ-a,総論VI-2-コ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_014_5/1_2限	2026/05/01	2		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	腫瘍類似疾患					
授業目標	1) 腫瘍類似疾患の画像所見について説明できる。					
キーワード	線維性異形成症、セメント質骨性異形成症、ケルビズム、その他					

担 当	泉 雅浩
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P240～242:顎骨に発生する腫瘍類似疾患の画像所見について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習
コアカリ(令和4年)	D-2-5-7,D-2-5-9,E-2-5-4
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-コ-a,総論VI-2-コ-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_015_5/1_3限	2026/05/01	3		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	悪性腫瘍					
授 業 目 標	1) 悪性腫瘍の画像診断ができる。					
キーワード	歯肉癌、転移性腫瘍、エナメル上皮癌、中心性癌、骨肉腫、線維肉腫、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、悪性黒色腫、舌癌、口底癌、頬粘膜癌、リンパ節転移、好酸球肉芽腫、骨髄腫					
担 当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P242～244,265～266:顎顔面領域に発生する悪性腫瘍の種類と画像所見について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-7,D-2-5-8,D-2-5-9,E-2-5-4					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-コ-a,総論VI-2-コ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_016_5/1_4限	2026/05/01	4		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	悪性腫瘍					
授 業 目 標	1) 悪性腫瘍の画像診断ができる。					
キーワード	歯肉癌、転移性腫瘍、エナメル上皮癌、中心性癌、骨肉腫、線維肉腫、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、悪性黒色腫、舌癌、口底癌、頬粘膜癌、リンパ節転移、好酸球肉芽腫、骨髄腫					
担 当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P242～244,265～266:顎顔面領域に発生する悪性腫瘍の種類と画像所見について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-7,D-2-5-8,D-2-5-9,E-2-5-4					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-コ-a,総論VI-2-コ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_017_5/8_1限	2026/05/08	1		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	上顎洞疾患					
授 業 目 標	1) 上顎洞に発生する疾患の画像所見について説明できる。					
キーワード	上顎洞炎、術後性上顎嚢胞、粘液貯留嚢胞、上顎洞癌、アスペルギルス症、その他					
担 当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P244～250:上顎洞に発生する疾患の画像所見について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-7,D-2-5-8,D-2-5-9,E-2-5-4					

国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-コ-a,各論III-2-I-a,各論III-2-I-b,各論III-2-I-c,各論III-2-I-d,各論III-2-I-e,各論III-2-I-f,各論III-2-I-g,各論III-2-I-h,各論III-3-ウ-c,各論III-3-ウ-d,各論III-3-ウ-i,各論III-3-ウ-j,各論III-3-ウ-k,各論III-3-ウ-l
--------------	--

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_018_5/8_2限	2026/05/08	2		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	顎関節疾患					
授業目標	1) 顎関節に発生する疾患の画像所見について説明できる。					
キーワード	顎関節症、顎関節脱臼、顎関節強直症、滑膜性骨軟骨腫症、その他					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P251～255:顎関節に発生する疾患の画像所見について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-7,D-2-5-8,D-2-5-9,E-2-5-4					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-コ-a,各論III-2-I-a,各論III-2-I-b,各論III-2-I-c,各論III-2-I-d,各論III-2-I-e,各論III-2-I-f,各論III-2-I-g,各論III-2-I-h,各論III-3-ウ-c,各論III-3-ウ-d,各論III-3-ウ-i,各論III-3-ウ-j,各論III-3-ウ-k,各論III-3-ウ-l					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_019_5/8_3限	2026/05/08	3		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	唾液腺疾患					
授業目標	1) 代表的な唾液腺疾患の画像診断ができる。					
キーワード	唾石症、慢性唾液腺炎、急性唾液腺炎、シェーグレン症候群、その他					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P267～274:唾液腺に発生する疾患の画像所見について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-9					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-コ-a,各論III-2-I-a,各論III-2-I-b,各論III-2-I-c,各論III-2-I-d,各論III-2-I-e,各論III-2-I-f,各論III-2-I-g,各論III-2-I-h,各論III-3-ウ-c,各論III-3-ウ-d,各論III-3-ウ-i,各論III-3-ウ-j,各論III-3-ウ-k,各論III-3-ウ-l					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_020_5/8_4限	2026/05/08	4		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	顎骨の炎症					
授業目標	1) 顎骨に発生する炎症性疾患の画像所見について説明できる。					
キーワード	歯槽骨炎、骨膜炎、骨髄炎、薬剤性顎骨壊死、その他					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P276～279:顎骨に発生する炎症性疾患の画像所見について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-7,D-2-5-8,D-2-5-9					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-コ-a,各論III-2-I-a,各論III-2-I-b,各論III-2-I-c,各論III-2-I-d,各論III-2-I-e,各論III-2-I-f,各論III-2-I-g,各論III-2-I-h,各論III-3-ウ-c,各論III-3-ウ-d,各論III-3-ウ-i,各論III-3-ウ-j,各論III-3-ウ-k,各論III-3-ウ-l					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

L3405_021_5/15_1限	2026/05/15	1		講義	33番教室	60
ユニット	画像診断学					
サブユニット	系統疾患					
授業目標	1) 顎骨に異常所見が認められる代表的な系統疾患の画像診断ができる。					
キーワード	甲状腺機能亢進症、鎖骨頭蓋骨異骨症、大理石骨病、口蓋裂、その他					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P280～282: 顎骨に異常が発生する系統疾患の画像所見について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-7,D-2-5-8,D-2-5-9,E-2-5-4					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅵ-2-コ-a,各論Ⅲ-2-Ⅰ-a,各論Ⅲ-2-Ⅰ-b,各論Ⅲ-2-Ⅰ-c,各論Ⅲ-2-Ⅰ-d,各論Ⅲ-2-Ⅰ-e,各論Ⅲ-2-Ⅰ-f,各論Ⅲ-2-Ⅰ-g,各論Ⅲ-2-Ⅰ-h,各論Ⅲ-3-ウ-c,各論Ⅲ-3-ウ-d,各論Ⅲ-3-ウ-i,各論Ⅲ-3-ウ-j,各論Ⅲ-3-ウ-k,各論Ⅲ-3-ウ-l					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_022_5/15_2限	2026/05/15	2		講義	33番教室	60
ユニット	放射線治療学					
サブユニット	口腔領域の悪性腫瘍の分類 腫瘍と放射線					
授業目標	1) 口腔領域悪性腫瘍の解剖学的分類について説明できる。 2) 口腔領域悪性腫瘍の組織学的分類について説明できる。 3) 腫瘍の進展度に対する分類について説明できる。 4) 腫瘍組織と正常組織の放射線感受性の違いについて説明できる。 5) 腫瘍の放射線感受性を修飾する因子について説明できる。 6) 腫瘍の種類による放射線感受性の違いについて説明できる					
キーワード	UICC分類、WHO頭頸部腫瘍組織分類、TNM分類、治療可能比(TR)、放射線治療の4R、回復、同調、再生、再酸素化					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P299～302、334～336: 腫瘍の放射線感受性と感受性修飾因子、口腔領域悪性腫瘍の分類方法について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-2					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-7-Ⅰ-a,総論Ⅶ-7-Ⅰ-b,各論Ⅲ-1-カ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_023_5/15_3限	2026/05/15	3		講義	33番教室	60
ユニット	放射線治療学					
サブユニット	放射線治療における治療計画と治療の実施					
授業目標	1) 放射線治療に必要な情報について説明できる。 2) 放射線治療の照射法について説明できる。					
キーワード	電磁放射線、粒子放射線、外部照射法、密封小線源照射法、組織内照射法、腔内照射法、密着照射法					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P337～351: 放射線治療の種類や適応について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-2					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-7-Ⅰ-a,総論Ⅶ-7-Ⅰ-b,各論Ⅲ-1-カ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L3405_024_5/15_4限	2026/05/15	4		講義	33番教室	60

ユニット	放射線治療学
サブユニット	放射線治療の副作用と口腔管理
授業目標	1) 放射線治療に伴う副作用について説明できる。 2) 口腔領域の放射線治療に必要な口腔管理について説明できる。
キーワード	全身的障害、局所的障害、早期障害、晩期障害、口腔管理、スぺーサー
担当	泉 雅浩
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 新歯科放射線学第2版P352～358:放射線治療に伴う副作用と、治療患者の口腔管理について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習
コアカリ(令和4年)	D-2-5-2
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-7-ウ-a,総論Ⅶ-7-ウ-b